

## 序曲

私は遠くへ行くのか

車窓を過ぎる木々の呼吸<sup>いき</sup>の長さよ

おお、私は遠くへ行くのか

私後にした街々に残された歴史よ

そよぐほどの微風ひとつない静寂に満ちた道々よ

おお、天空を這いつつ拡がる雲よ

起伏に満ちた旋律がいかに高らかに詠われようと

うねり苦しむ、憧れに満ちた想いを背負うのだ

いつしかそれを解き放つときが来るだろう

その時こそはこの鉄路から駅へと降り立つがいい

そこからお前の新たな世界が拡がるであろうから

お前の足が地面を踏みしめながら歩くことを欲するであろうから

おお、私は遠くへ行くのだ

(2005.1.31)